

原 著

## 健常人における塩酸ブナゾシン点眼による 傍中心窩毛細血管血流速度の変化について

小 熊 亜 弥, 遠 藤 要 子, 伊 藤 典 彦,  
土 屋 綾 子, 伊 藤 亜 紀 子, 水 木 信 久

横浜市立大学大学院医学研究科 視覚器病態学

**要 旨:** 今日の緑内障治療, 特に正常眼圧緑内障の治療においては, 単に眼圧下降を目標にするのではなく, 眼内の血流改善も重要であると考えられてきている. そこで今回私達は, 健常人において, 塩酸ブナゾシン (デタントール®点眼液) 点眼により, 血流速度および眼灌流圧などに改善がみられるか否かについて, 走査型レーザー検眼鏡 (SLO: Scanning Laser ophthalmoscope) を用いて検討した. 対象は26歳~38歳の健常人男性5例8眼, 平均年齢は $32.8 \pm 4.1$ 歳で, 屈折異常はすべて $\pm 6$ D未満であった. 測定血管は1眼につき4~5本で計33本とした. 塩酸ブナゾシン点眼開始前および1日2回点眼1ヵ月後において, SLOを用いてフルオレセイン蛍光眼底造影検査を施行し, 傍中心窩毛細血管内の蛍光点移動速度を測定し, 蛍光点移動平均速度および変化率を算定し, 点眼前後で比較検討した. また, 眼圧, 平均血圧および眼灌流圧も点眼前後で比較した.

その結果, 33血管中5血管において有意な血流速度の上昇, 7血管において有意な低下がみられ, 21血管においては変化がみられなかった. また, 点眼前後で眼圧, 平均血圧および眼灌流圧に変化はみられなかった. 塩酸ブナゾシン点眼前後で, 傍中心窩毛細血管の血流速度, 眼圧, 平均血圧および眼灌流圧に有意な変化はみられなかった.

**Key words:** 塩酸ブナゾシン (Bunazosin hydrochloride), SLO, 傍中心窩毛細血管の血流速度 (perifoveal blood flow velocity), 眼灌流圧 (ocular perfusion pressure)